赤い羽根共同募金の助成を受けています。

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように…

福玉便り

ふくたまだより

1月&2月号

2020年1月1日発行

通巻 第81号

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会
協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部
連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 ときわ会館4F TEL080-4331-0290

新年あけまして おめでとうございます。

2011年から9回目のお正月となります。東日本大震災・原発事故という困難の中、埼玉県で避難生活を続けている皆さんに心から「生きていて良かったね」・「お疲れさま」とご挨拶させて頂きます。

先日、浪江町にあるアスナロ幼稚園を視察しました。町の一部を除き避難指示が解除された浪江町では、待望のショッピングセンターイオンが開店して〝にぎわい〟ができつつありますが、イオンから50メートルしか離れていないアスナロ幼稚園は、2011年3月から「時が止まったまま」でした。園庭や遊具は草に覆われたままでした。そして「園の再開」に向けて頑張ってきた園長はじめスタッフは、「子供がほとんどいない町」での開園を諦めたといいます。本当につらい話でした。

浜通りの多くの町では、津波で流された地域を含めて、街は「知らない町」になってしまいました。前に住んでいた「家」は解体されて更地になり、隣近所に居た方も避難先か復興公営住宅で生活しています。

「避難指示解除」で町は「帰れる場所」になったはずですが、「帰っても生活が極めて困難な場所」でもあります。残念ながらまだまだ困難は続くと思います。

一方、南相馬市やいわき市の復興公営住宅で新しい生活を始めた人もたくさんいます。南相馬市のSさんもその一人です。南相馬市の復興公営住宅で定期的にサロンやイベントを開催し、新しい友達を作りながら、新しい生活をしています。また、埼玉県朝霞市では、10月に新しいサロンが始まりました。さらに、サロン運営の中心的な人は代わったものの、サロン運営の中で「新しい福島県人のつながり」が始まったサロンもあります。

埼玉県内の多くのサロン、交流会は、参加者が減り、資金的な困難やや支援者の高齢化などの問題がでてきていますが、「楽しかったこと」を思い出して、「新しい繋がり、懐かしい遊び」を作り出しましょう。福玉便りは、埼玉県内で生活する避難者のみなさんと今年も一緒に歩みます。サロン・交流会に参加したことのない方も今年は一緒に何かしましょう。そして、少しでも困ったことがあれば、お声掛けください。

『福玉便り』編集部

熊谷市近郊に避難されている皆さまへ
第23回　福玉サロン in 熊谷を開催します。

美味しい料理を食べながら、ゲームやおしゃべりで楽しい時間を過ごしましょう。
皆さまのご参加をお待ちしています。

- 日時：2020年1月28日（火）午前11時から午後3時
- 会場：キングアンバサダーホテル熊谷　1F レストラン［サーフ＆ターフ］
  熊谷市筑波1-99-1（熊谷駅北口徒歩5分）
- 参加費：1,000円／人
- 募集人数：30人
- 主催：一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会（048-833-8731）
- 共催：福島県富岡町県外避難者支援拠点事務所（048-832-0600）、福島県復興支援員埼玉事務所（048-814-1111）
  ふくしまと繋がる・福島とつなげるプロジェクト

※参加申し込みは各事務所まで。午前10時から午後4時までの間にご連絡ください。定員になり次第締め切らせていただきます。

福玉相談センター
「出張相談会」
のお知らせ

日時：2020年1月16日（木）
13：30～16：00
場所：三郷市文化会館中会議室
三郷市早稲田5-4-1　（048－957－2511）
JR武蔵野線 三郷駅で下車 北口から徒歩15分。もしくは三郷駅北口東武バス早01（早稲田循環）三13（吉川車庫行）三15（吉川駅北口行）　停留所「文化会館東」で降車。
駐車場（無料）：ただし他の催物によっては駐車場が混み合いますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
（福玉相談センター・薄井）

2020年最初の「相談・交流会」は三郷市で開催します。お近くの方もぜひご参加ください。
住宅のこと、家族の健康や介護のこと、これからの生活のこと等々、何か気にかかっていることはありませんか？話すことで少し不安を解消しませんか？ 福島県避難者支援課、埼玉県住宅課、社会福祉士会等の専門家とともにお待ちしています。おしゃべりをしたい！という方もぜひお越しください。健康チェックも行います。お茶を飲みながら交流しましょう。
事前の予約は不要ですが、相談内容についての質問や場所の確認をなさりたい場合には、いつでもお電話ください。
☎0120-60-7722（月～金曜日・午前9時～午後5時）

まずは、お気軽にお電話ください
相談員が丁寧にお話をうかがいます
福玉相談センター
相談ダイヤル：**0120-60-7722**
月～金曜日　9時～17時　＊祝祭日はお休みです
＊フリーダイヤルですので通話料の心配がいりません

●埼玉いのちの電話公開講演会

あふれでたのは やさしさだった～人は人の輪の中で育つ～

2020年1月11日（土）開場13:00／開演14:00　埼玉会館小ホール<JR浦和駅（西口）徒歩7分>

寮 美千子 Michiko Ryo

作家・詩人。1955年東京生まれ。毎日童話新人賞を受賞（1986年）してデビュー。
泉鏡花文学賞を受賞（2005年）。童話から絵本・純文学・ノンフィクションまで。
幅広く執筆。2007年～2016年奈良少年刑務所で社会性涵養プログラム講師。
関連書として「空が青いから白をえらんだのです　奈良少年刑務所詩集」、「世界はもっと美しくなる 奈良少年刑務所詩集」、「あふれでたのはやさしさだった　奈良少年刑務所 絵本と詩の教室」、「写真集 美しい刑務所　明治の名煉瓦建築 奈良少年刑務所」。

＊参加費 無料　＊要予約（電話・FAX可）

● 要予約　薄井（080-5532-7380）までお電話ください。
● 手話通訳がつきます

●後援 埼玉県、埼玉県教育委員会、埼玉県PTA連合会、埼玉県社会福祉協議会、さいたま市、さいたま市社会福祉協議会、さいたま市教育委員会、さいたま市PTA協議会

2

いわき市で　〝おあがんなんしょ〟

10月20日台風19号の水害の影響を受け、急遽、目的地を変更して懐かしい皆さんとの再会ツアーを実施しました。車窓から見える災害の爪痕には心が痛みました。笑顔で待っていてくれた皆さんとの再会・歓談は時の経つのを忘れたひと時でした。

【いわき市　渡部さん】

おあがんなんしょの皆様この度は遠くふじみ野市から遙々福島までお越し頂き有り難う御座いました。今回の福島訪問は台風一過の惨事の後で当初の予定のトマトランドが断水のため使用不可となり、訪問出来ず残念な思いをしたことと思います。私もトマトランドは何度が訪れ、トマトやイチゴを購入していました。トマトランドの施設も設立してまだ2年か3年と新しい建物ですので比較的雰囲気の良い施設になっており、バーベキュー等をする場所も作られているはずですので、機会がありましたらこれからも改めて訪問をして頂ける事をお待ちしています。

今回皆様と見学をしたアクアマリンふくしまは私も初めての場所で、近くにあればいつでも行けるとの思いからなかなか一人では行く機会のないところでしたので、とても楽しまさせて頂きました。普通の水族館では見れない生物もたくさん居るようですので、次回はお子様お孫様も同伴していただき楽しんでいただければ嬉しい限りです。

以前におあがんなんしょの皆様に植えていただきました桜の苗木はどの苗も枯れずに(今は木の葉はなくなりましたが)生きていますので、来年にも福島に来れる機会がありましたら又お会い出来ますことを楽しみに心よりお待ち申し上げています。

【南相馬市　鈴木さん】

今回おあがんなんしょのいわき市での交流会に参加させて頂き、楽しい時間を過ごしました。福島に戻り、三年半ぶりに皆さんとお会いしましたが「こんにちは、お久しぶり」「こんにちは、お元気でしたか」と声をかけてもらい、初めてふじみ野市で「おあがんなんしょ」に出席した時、皆さんの優しく温かい笑顔を思い出しました。これからも皆さんの活動を応援しております。

【いわき市　神内さん】

さいがい・つながりカフェの薄井さんから「今、ら・ら・ミュウに来ているよ～、出て来られる？」と突然電話があり、思いかけずおあがんなんしょの皆さんと交流することができました。浪江町の方とは町の思い出話で盛り上がり、いわき市に住んでおられる渡部さんとも知り合えて、楽しい時間を過ごせました。今年は住んでいる団地で班長となり、秋祭りも無事終わってこれからはクリスマスの交流会の準備に取り掛かります。会費徴収のため戸別訪問をするので団地内で知り合いも増えました。色々な催しにも積極的に参加しています。埼玉県で過ごした時間を思い出しては「埼玉に行きたいね」といつも娘と話しています。

（おあがんなんしょ・松館）

さいがい・つながりカフェ
2/9(日)With Youさいたまフェスティバルに参加します

●10:00-10:30　舞台発表(4F)今年も歌います！「さいがい・つながり合唱団」　●11:30-13:00　ワークショップ(4F和室)『もしあの原発事故の時風が南に向かって吹いていたら』

どんな災害がいつ襲ってくるか、わからない時代になりました。天災だけでなく、もし次に原発事故が起きたら、、。みんなで話しませんか。

(With Youさいたま 埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)

さいがい・つながりカフェ☎048-601-3111、tunagari.saitama@gmail.com

北村雅さん 福島県双葉町から小山市(栃木県)へ避難

大学卒業後、福島県社会福祉協議会(福島市)に勤めました。長男なのでいつかは双葉町に戻ると思っていましたので、双葉町に戻り、富岡町や川内村にあった知的障害者更生施設に15年程勤めました。その後、縁あって双葉町社会福祉協議会に勤めることになりました。在宅介護支援センターをスタートに2011年3月時はデイサービスセンターに勤務していました。

震災の当日は金曜日で開所以来最高の利用者数だったんです。朝からの送迎、入浴、食事など測ったように業務がトントン拍子に進み、これだけの人がいるのにすごいなぁと職員で話をしていました。毎日午後2時頃から体操するのが日課で、その日は自分が指導役にあたっていましたので「みんなで体操をしよう」と声をかけ、タオルを持ってさあ始めましょう、という時に揺れました。このことは本当に幸運でした。ベットに寝たままだったら上から何か落ちてきて下敷きになった方も出たかと思います。利用者さんが怪我しなかったことは奇跡のように思います。職員もフロアに出ていたので、すぐに寄り添うことができました。時間ももう少し後だったらば、送迎中だったり、すでに帰宅して海岸方面に住んでいる方は津波で危なかったです。揺れは長かったですね。ヘルスケアふたば2階のガラス張りのフロアにいたので、ああ、このガラスが割れて突き刺さって自分は死ぬんだな・・と思いました。耐震性を考えられていた建物だったので、実際にはそういうことはなかったのですが。

その後、利用者さんを迎えに来る家族もありましたが、ここは避難所に指定されていたので、津波でずぶぬれになった方々がどんどん避難してこられました。ここも2の先ぐらいまで津波がきました。隣には特別養護老人施設もありましたし、デイサービスセンターもむやみに他所へ移動しない方が良いと判断してとどまっていました。翌日、県から避難命令が出てバスでの避難を開始しました。私はスタッフと一緒に車いすの方々とワゴンで移動することになり、出発前にトイレの付き添いでちょっと離れ、戻ってきたらもう誰もいない状態でした。双葉高校に避難すると聞いていたのでそこに向かいましたが、そこにも誰もいない。

もう一度職場に戻ったら自衛隊員しかおらず、「町民は川俣に避難した」と言われまして、急いで向かったら渋滞していたおかげで町のバスに追いつきました。離れずに済んだことも本当に幸運だったと思います。それから私たちは川俣高校の体育館に落ち着きました。

3泊して郡山市の養護学校に避難しました。特養利用者の方々と一緒でしたから特養の職員とともに24時間介護にあたりました。その後リフト車で埼玉県のスーパーアリーナに移動しました。そこでは緊急を要する人以外は赤ちゃんから老人までみんな一緒の空間。他人が側を歩いていて、プライバシーも全くない。みんな相当きつかったと思います。特に女性は大変だったと思います。とはいえ、どこに行っても雨風はしのげたのですから、それはありがたかったです。この間、町の職員はとても大変だったと思います。その様子を側で見ていたので、なるだけ声をかけて元気かどうか確認するよう心掛けました。川俣でも利用者の皆さんが落ち着かない状況だったので、「北村さん、何かやってよ」と所長に言われて、2日間民謡大会を行いました。「今日も8時になりました、民謡大会を始めますよ」と言って。こんな状況でも、みんな、せめて元気でいてほしい、町民も不安になるから職員も元気でいてほしい、そう思うのです。何年か経ってからも職員と話せる関係でいるのはその時の経験があったからと思います。

騎西高校では早くも4月1日から移動入浴車を設置して入浴支援を始めました。すごいことですよね。震災後なかなか入浴できない状況が続いたので喜んでもらいました。お風呂というのは重要ですよ。騎西高校に町役場が移ってからは月～金曜日は高校で過ごし、週末は息子が住んでいた小山市に帰る生活になりました。加須市から小山市まではバスやJRで1時間ほどでしたし、自分は恵まれていたと思います。ただ、郡山の段階ですでに感じていたのですが、避難所の外に出ると全く今まで通りの日常生活が展開していることにクラクラしましたね。地震、原発事故によって生活が一変したのは自分たちだけなんだなぁ、と痛感しました。4月1日に小山市で震災後ようやく妻と再会しました。妻は別行動で川俣に避難していたのですが会っていませんでした。その間メールで連絡は取っていたんですが、残している記録を読むと自分は悲観的なことしか書いていないんです。反省しています。大学の先輩にも震災直後に「もう双葉町は無くなりました」とメールを送信し

ており、その後、その先輩は私と会うとかならず「あのメールを見た時は涙が出た」と思いだしては泣くんですよ。自分としては何気なく書いたようでしたが、爆発の時も外にいましたし、もう駄目だ、終わりだという心境だったのですね。自分たちも情報が限られていましたし、家族の誰かが働いているので怖さも知っていますから、第一原発が3か所水素爆発して、ほとんどの町民はやばいなと思ったのではないでしょうか。

高校での生活では、小さな町なのにこの私でも知らない方がたくさんおられたんだなあ、と思いました。生活スタイルも異なっている人たちが教室で暮らすのだから、いろいろ難しいことがあったと思います。プライバシーもないですし、当然ですよね。社協職員は男女同室でした。私は時間ができたらなるだけ部屋を回り、町民とおしゃべりをするよう意識していました。ああいう状況の時、「うろついている」人が居ることは案外大事なんじゃないかと思います。

その後は、いわき市の南台仮設に移動になり3年2か月勤めました。この前仮設が建っていた場所に行って泣いてきました。南台は赤ちゃんからお年寄りまでおられ、大変な時に一緒に生活したので住民の方々のつながりは強く、コミュニティが成り立っていましたね。私も町民と同じように仮設に住んでいましたが、その間、一度もどこかの住宅でお酒を飲んだり食事をしたりということはしませんでした。誰とでも同じ関係を保つことを心掛けました。社協は仮設住宅訪問、いわき市内の避難者宅訪問の他にひだまりサロンを最初の一年は365日オープンしていました。いつでも受け入れ可能だったのでボランティアさんも来れたし、住民もいつ行っても誰かいるので楽しく過ごしてもらえました。仮設住宅に同じ職場同じ消防団仲間が居てダルマ市、盆踊りを興してくれました。福田一治さん達が居なかったら、南台でのダルマ市、盆踊りはなかったと思います。本当に感謝、感謝です。その時の職員とは「毎日楽しかったよね」と南台仮設での日々を振り返っています。代えがたい体験でしたね。今は勿来酒井の復興公営住宅があるひだまりと加須の社協事務所を月に一回フリーな立場で訪問しています。復興住宅に移ってまた新しい人間関係を作っていくのも大変ですが、勿来では自治会の会長さんが一生懸命まとめておられます。加須市には町民500名ほど住んでおり、自治会も役場の支所もあり、加須市も応援してくれますので、その意味で安心感は大きいと思います。とはいえ、避難先での生活が長くなっても、住民票は移せない、どこかで双葉町とつながっていたいという気持ちがあるんですよね。

栃木県には双葉町民は80名ほど、小山市には4世帯、隣の下野市には5世帯生活しています。下野市には「あじさいの会」という交流会があり、県内から避難者が参加して近所の方々と交流しています。下野市にある自治医大では看護学部の4年生が災害時の介護を勉強する授業で2回体験談を話をしました。町田市にある和光大学でも7月に避難体験を話しました。震災時に小学四・五年生だった学生さんたちは実際の体験者の話を聞く機会はなかったようで、その時の感想文は自分にとって宝物です。

小山市では『風草』というミニコミ誌を出しているグループから声をかけられ、3・11の特集号で避難生活のことを書きました。最新号では「ふきのとう、わらび、ぜんまい採り」というタイトルで「双葉町ではこういうことをしていた、定年後を楽しみにしていた。それが何故できなくなったのか」と書きました。双葉町は小さな町で、歩くとすぐに山があり海があり、最高でした。若い世代から見れば「何にもない町」でしょうが、今はいい町だったなあとみんな言います。当たり前だったことがいかに大事なことだったのか。責任云々ということよりも、町を、そこでの私たちの生活を戻してほしい―その気持ちだけなのです。よく「帰るんですか？」と聞かれるのですが、「3月11日の2時45分までの町に戻れるならば帰ります、2時46分以降の町には戻りません」と答えます。先日、家の解体作業が終わったので見にいきました。これから新しい容れ物が建ち、新しい双葉町になっていくことでしょう。そう割り切るしかありません。

双葉町町民は各々必死で生活していましたし、今聞いて、ああ、そうだったのかとわかることがたくさんあります。町職員や社協職員の中にも様々な事情でアリーナに行けなかった職員もいます。そのことで「町を見捨てた」と言われたり、気にかけている人もいます。そういう人ともう一度会って、そんなこと思っていないよと伝えたいですね。現職、退職した人とも連絡を取って空白になっているところを埋めていく、その作業を自分がやれば、と思っています。どれだけ書いても話しても尽くせない感じですが、こうして双葉町を残していくことになるのでしょうね。

（聞き手・編集部・薄井）

北海道へ戸別訪問に行ってきました

富岡町県外避難者支援拠点事務所

数日前に吹雪であった北海道へ、飛行機の発着が心配でしたが無事到着することができました。訪問先は恵庭市、札幌市、札幌にある北海道ＮＰＯサポートセンターでした。

一軒目のお宅は高齢ご夫婦の避難先で事前電話ではぜひ寄って下さいと言ってくれましたがご主人が少し体調を崩しているようでした。訪問してみると奥様が対応されて「実は昨日入院してしまいました」との事でした。奥様から旦那様の様子や息子さんが病院に行き来しているとお聞きし安心しました。

二軒目のお宅は一軒目の旦那様の弟さんでやはり持病のため病院から帰宅されたところでした。奥様もいらしてご夫婦で歓迎してくれました。富岡町に住んでいた頃の友人や知人の話に花が咲き、富岡の住宅関係の手続き等につきの東京電力への連絡を促すことができました。また奥様は北海道出身の方ではっきりものを言われる方で、被災者に対する国、県、町の対応について厳しい意見をいただきました。心意気がとてもよく、帰りは駅まで送ってくださり、励まされました。

三軒目の訪問先はご主人が検査入院のため訪問をキャンセルしたいと連絡がありました。今後の課題として高齢化、医療、一人暮らしの方の見守り等時間が経過してしまった故の問題が様々だと思いました。

北海道ＮＰＯサポートセンターではいろいろな支援活動の話を伺い、北海道に避難した富岡町民の方々に困り事があった場合は直ちに連絡をとり相談に乗っていただけるようお願いしたところ快諾していただきました。とても心強い団体であると感じました。また担当者もとても気さくで話しやすい方々でした。

帰りの飛行機は搭乗する間際に吹雪のような状態になり離陸時間が遅れましたが高いクレーン車から、翼に雪が付着しないようにする液体を噴射するめったに見られない作業を見学することができました。こうして北海道の戸別訪問が無事に終了しました。

（富岡町支援員・並木）

政府出資の原子力損害賠償・廃炉等支援機構

原子力損害賠償に関する無料説明・相談会のご案内

●日時　1月25日(土)午前10時～午後4時

●会場　さいたま市大宮区ソニックシティ７階703会議室

説明会では今後の生活に影響する「住居確保にかかる費用」の賠償を中心にご説明し、個別相談では、全ての原子力損害賠償についてご相談いただけます。

・まだ住居の確保がお済みでない方

・既に住居を確保したが、賠償可能残額がある方

・原子力損害賠償でお悩みの方

是非、ご相談ください！

●内容

第1部 全体説明会 10:00～12:00

■「住居確保にかかる費用」の賠償内容を中心に弁護士が詳しく解説し、質疑応答もいたします。対象：避難指示区域から避難されている皆様

第2部 個別相談 13:00～16:00

■ 弁護士が原子力損害全般のご相談に個別対応いたします。

◇相談時間は1回1時間 対象：原子力損害賠償においてお困りの皆様

●連絡先

全体説明会へのご参加、個別のご相談は事前予約をお願いいたします。（全体説明会、個別相談のいずれか一方のみでもご参加いただけます。）

予約専用ダイヤル 120-330-540 予約受付時間：9:30 ～ 17:00

（12/29～1/3を除き、年中無休）

司法書士さんがいる交流会

毎月各地で開催されている交流会には司法書士が参加している場所があります。

双葉町民によるボランティアカフェ、春日部つながりカフェ、青空あおぞら、おあがんなんしょです。

じっくりと話ができる機会ですので、ぜひこうした場も活用してみてください。開催日はカレンダーに載っていますので、ご都合に合わせてお気軽に足を運んでみてください。

まるまるひがしにほん（東日本連携センター）
浪江町、広野町、楢葉町の３町合同のシティプロモーションイベントを実施

東日本の「ヒト・モノ・情報」の交流・発信・活性化を促す地方創生の場として、大宮駅東口に昨年３月にオープンした「まるまるひがしにほん（東日本連携センター）」では、東日本各都市のイベントを実施しています。

これまで福島県からは郡山市、会津若松市、浪江町が出展しました。鯉の甘露煮、ソースカツ丼、お団子や焼きそばなど地域の美味しい食べ物や日本酒の提供・販売、会津漆器や大堀相馬焼の伝統工芸品の展示・販売、赤べこの絵付け体験など、様々なイベントを実施し、沢山の人が訪れました。

２０２０年２月２２日（土）～２６日（水）の５日間、浪江町、広野町、楢葉町の３町合同のシティプロモーションイベントを実施します。

詳細は決まり次第、公式ホームページでご案内します。

ぜひお越しください。

１月・２月のまるまるひがしにほんイベント（予定）

・1/1（水）～1/5（日）新春酒フェア ※1/3(金)は休館日
・1/10(金)～1/14（火）北海道函館市イベント
　※特産品の販売とプレゼント企画など
・1/16(木)～1/18（土）新潟県村上市・山形県鶴岡市イベント
　※酒の試飲や物産販売など
・1/24(金)～1/26（日）富山県氷見市イベント
　※特産品や水産加工品などの販売
・1/31(金)～2/1(土)　栃木県日光市イベント
　※農作物や特産品の販売、観光ＰＲなど
・2/15(土)～2/16(日)　北海道様似町イベント
・2/22(土)～2/26(水)　福島県浪江町・広野町・楢葉町のイベント！
　まるまるひがしにほん（東日本連携センター）

〇公式ＨＰ　https://marumaru-higashinihon.jp/
〇所 在 地　さいたま市大宮区大門町１－６－１
〇電話番号　048-856-9111
〇開館時間　11:00～19:00 (イベントにより変わる場合があります)
〇休 館 日　毎月第 2,3 月曜日（祝日の場合は翌火曜日が休館日）

１階では、東日本各地のイベントを随時実施しています。

まるまるひがしにほんでは１杯 100 円で東日本の日本酒の試飲ができます。

浪江町のイベントでは、ゆるキャラ「うけどん」が店頭で盛り上げてくれました。

まるまるひがしにほんの２階で白虎隊踊りを披露してもらいました（会津若松市）

32 玉兎の会
1/13(月)10:30～12:00
2/8(土)　13:00～15:00With Youさいたま和室
☎090-6128-1948(小林さん)

33 つながり
奇数月第一土曜日(1月はお休み)
毛呂山中央公民館
毛呂山町☎ 090-9032-8116 河井さん

2月

1日（土）	10
2日（日）	
3日（月）	
4日（火）	
5日（水）	
6日（木）	
7日（金）	
8日（土）	32
9日（日）	19
10日(月)	
11日(火)	6
12日(水)	
13日(木)	
14日(金)	
15日(土)	
16日(日)	15 27 5
17日(月)	
18日(火)	3
19日(水)	
20日(木)	1
21日(金)	
22日(土)	
23日(日)	25
24日(月)	
25日(火)	
26日(水)	
27日(木)	19
28日(金)	
29日(土)	

17 つながりの会
東北復興支援販売
草加市物産・観光情報センター
☎048-932-6770(草加市社協地域福祉担当)

18 ひまわりの会
☎ 080-5431-0123(島田さん・留守電)

19 さいがい・つながりカフェ
月2回木曜日11:00～15:00
1/9(木)、1/23(木)、2/27(木)
11:00～15:00
With　Youさいたま4F和室
2/9(日)With Youさいたまフェスティバルに参加　10:00-10:30　舞台発表(4F)今年も歌います！「さいがい・つながり合唱団」　11:30-13:00ワークショップ(4F和室)『もしあの原発事故の時　風が南に向かって吹いていたら』
どんな災害がいつ襲ってくるか、わからない時代になりました。天災だけでなく、もし次に原発事故が起きたら、、。みんなで話しませんか。
(埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
04さいがい・つながりカフェ☎048-601-3111、tu-nagari.saitama@gmail.com

24 新座さいがいつながりカフェ
新座市☎ 090-2402-9155(谷森さん)

25 青空あおぞら
1/26(日)、2/23(日)
13:30～16:00
新所沢公民館(司法書士参加)
所沢市 ☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

27 おあがんなんしょ
1/19(日)　新年会 13:00～16:00
フクトピア
2/16(日)　田舎料理をつくろう
9:30～15:00
上福岡公民館
☎ 090-5345-8408(松舘さん)

28 ここカフェ@川越
☎070-5080-4494(鈴木さん)

29 鳩のつどい
月2回 10:00 ～12:00
ＪＡＸＡ鳩山宿舎108号室
☎ 049-296-1241(鳩山町健康福祉課)

こちらのサイトにも情報があります。
http://431279.com/
(SSN震災支援ネットワーク埼玉)

5 すくすくのあそび広場
すくすくのあそびひろば(昼食付、要予約)
1/19(日)10:30～14:00　不動岡公民館
2/16(日)10:30～14:00　三俣公民館
小中高生勉強会(学習支援・軽食付き、無料、見学可)
毎週木曜　17:00～19:00　市民プラザかぞ5Fと4F
090-2411-8598(戸恒さん)

6 オバトン
交流会(食事付)
1/23(木)、2/11(火)、2/27(木)
10:00～15:00
キャッスルきさい(騎西文化・学習センター)
090-6526-8560(藤井さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
1/11(土)、2/1(土)　定例会合
10:00～12:00
シラコバト団地第一集会室
上尾市☎ 048-607-6723(団地自治会事務所)、☎ 080-3091-6215(橘さん)

10 くまがや結の会 熊谷市
1/28(火)第23回福玉交流サロン11:00～
キングアンバサダーホテル熊谷
090-7661-9236(林崎さん)

11 羽生つながりカフェ
☎ 080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会
久喜市☎ 090-6855-7140(木幡さん)

13 いきがいサロン
県外避難者生活相談(無料)何でもスマホ・パソコン相談(500円)
毎週火曜日11:00～15:00
0480-31-0055(すぎとSOHOクラブ小林)

14 春日部つながりカフェ
1/15(水)、2/5(水)
13:30～16:00
コーププラザ春日部(司法書士参加)
☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

15 ひだまり広場
1/19(日)、2/16(日)
13:00～16:30
ほっと越谷　参加費無料
☎090-8613-1284(佐藤さん)

16 あゆみの会
1/10(金)　ボーリング大会と新年会　春日部ターキーボウル
越谷市☎ 090-9425-2001(石上さん)

1月

1日（水）	
2日（木）	
3日（金）	
4日（土）	
5日（日）	
6日（月）	
7日（火）	
8日（水）	
9日（木）	19
10日(金)	16
11日(土)	
12日(日)	
13日(月)	32
14日(火)	
15日(水)	
16日(木)	1
17日(金)	
18日(土)	
19日(日)	5 15 27
20日(月)	
21日(火)	3
22日(水)	
23日(木)	6 19
24日(金)	
25日(土)	
26日(日)	25
27日(月)	
28日(火)	10
29日(水)	
30日(木)	
31日(金)	

1 双葉町民によるボランティアカフェ
1/16(木)、2/20(木)10:00～15:00
いきいきサポートセンター(司法書士、臨床心理士参加。2月は味噌作りを予定、有料・要予約)
☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

3 双葉町老人クラブ女性会&さいがい・つながりカフェ
1/21(火)、2/18(火)
10:00～12:00
いきいきサポートセンター
☎080-5532-7380(薄井さん)

4 加須ふれあいセンター
加須市正能11-5 ☎090-1650-2874(富沢さん)

『福玉便り』編集委員会　連絡先：NPO法人埼玉広域避難者支援センター
電話080-4331-0290　メール：fukutama@431279.com
こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をおよせください。

福玉便りの全バックナンバーのデータ、最新情報はNPO法人埼玉広域避難者支援センターのホームページにあります。→ http://fukutama.org/